

# 大鹿村中央構造線博物館たより 127号



2019年12月発行

TEL:(0265)39-2205  
staff69@mtl-muse.com

## 「大鹿村ジオツアー2019秋」を開催しました！

10月24日（木）～25日（金）にかけて、博物館イベント「大鹿村ジオツアー2019秋」を開催しました。直前に台風19号により、長野県の千曲川流域をはじめ東日本各地で洪水や土砂崩れなどの被害が多発し、参加者の皆さんが来られるかどうか、危ぶまれる状態でしたが、全国各地から13名が参加してくださりました。当日も雨天予報ということで、見学順序を一部入れ替えたりしましたが、幸い雨は小降りであったため、メインの見学地である安康露頭には行くことができました。

1日目は、昼過ぎに博物館に集合し、まず、紅葉がはじまったばかりの夕立神展望台に向かいました。雲の合間から、初冠雪したての南アルプスの稜線部を何とか見ることができました（写真1）。次に、中尾から中央構造線の谷を見ました。雨が降り出してしまったものの、何とか中央構造線の作ったまっすぐな谷を見渡すことができました（写真2）。その後、中央構造線博物館にて河本学芸員の地質解説、福德寺にて教育委員会北村さんの歴史解説を経て、宿泊地の赤石荘に向かいました。参加者の皆さんは、赤石荘の温泉もお料理もとても良かったと喜んでおられました。



写真1

夕立神展望台から見た雲間の南アルプス



写真2

中尾から見た中央構造線断層谷

2日目は、まず安康露頭へ向かいました（写真3）。雨に濡れて、露頭はいつもより鮮明に見えました。露頭周辺に落ちている岩石も、模様がきれいに見えました。その後、国道152号線大沢付近で断層鞍部地形を遠望しました（写真4）。道の駅で早めの昼食の後、午後は、大西公園で崩壊跡を見学し（写真5）、博物館に戻りました。

今回は、雨天のため、屋外見学時間を少なくした分、2日目の博物館内の説明時間を当初予定の1時間から2時間に増やすこととなりました。その結果、基本的なことからじっくり説明するスタイルとなり、参加者の皆さんには、大変満足していただけたようです。前回の春のジオツアーは見学地点が多く、参加者の中に疲労困憊こんぱいしてしまった方もおられましたが、今回は、展示室に用意したパイプ椅子に座る方も少なく、長時間に渡り、河本学芸員の説明に熱心に耳を傾けておられました（写真6）。（宮崎）



写真3 安康露頭



写真4 大沢の断層鞍部を望む



写真5 大西公園内の崩壊礫保存園前にて



写真6 博物館での講義

**\* 2019年度 諸外国写真上映会 \***  
**西方見聞録 「世界はこんなふうだった」**  
**第5回 インド北西部 編**

大鹿村在住の伊東一郎さんが撮影したインド北西部の写真をスライド上映します。撮影地域はスリナガル(1989年)、デリー(2016/2018年)、ラジャスタン州・グジャラート州(2018年)、ゴア(1989年)で、インド独特の極めて多様な文化や自然、人々の生活などについて、多数の写真をご自身の簡単な解説付きで紹介上映します。



- 第1話 (1月8日(水)) カシミール～デリー～ゴア。カシミールのイスラム文化の町から首都デリーとその周辺を経てゴアの海岸まで。
- 第2話 (1月10日(金)) パキスタン国境に向けて広大なタール砂漠が広がるラジャスタン州ジャイプール、ジョドプール、ジャイサルメール及びその周辺地域。
- 第3話 (1月11日(土)) ラジャスタン州。ジャイサルメール城塞、ウダイプールとその周辺、インド建築の最高傑作とも言われるラナクプールのアディナタ寺院まで。初めて写りこんだ幽霊と思われるミステリアスな写真も公開。
- 第4話 (1月17日(金)) グジャラート州西部。グジャラート州はヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、拝火教、イスラム教、キリスト教など多くの宗教が混在、自然も変化に富んでいる。ブジとその周辺、ジュナガート、マンドゥビなど。
- 第5話 (1月18日(土)) グジャラート州東部。イスラム色の濃いアーメダバード、ジャイナ教の聖地パリタナ、ジャイナ教・ヒンドゥー教共通聖地ギルナル山など。

**\* 於 大鹿村中央構造線博物館、無料 \* 上映時間 14:00～ 概ね2時間**